

活動紹介

～ 呼んでいただいてありがとう ～

今年も山陽小野田市自然保護協議会の環境学習会から紙芝居上演の依頼が来ました。事前に入念なりハーサルを重ねたショートプログラムチームのメンバーは、まず2月15日(日)厚陽公民館に集まりました。一般参加者など30名とともにカブトガニ展示館で原田館長からカブトガニの生態を勉強させて頂いた後、厚陽公民館に戻り「クロツラヘラサギ・クロちゃんのくちばし」と「ふしぎふしぎカブトガニ」の紙芝居を観てもらいました。午後からは厚狭川河口のバードウォッチングに参加しました。つぎに3月8日(日)は、山陽小野田市の日の出市場で「ふしぎふしぎカブトガニ」を上演しました。市場に来られた人たちも足を止め、興味深く紙芝居に見入っておられました。この日の午後は、ショートプログラムチームのメンバーも買い物をしたり、美味しいものを食べたりして楽しみました。山陽小野田市自然保護協議会の皆さん呼んでいただいてありがとうございました。いろいろ楽しい有意義な2日間でした。



～ ヨシ原、スッキリ ～

3月7日(土)、恒例のヨシ焼きが行われました。今回は中央園路に最も近い区域の2haが焼かれました。春に付きものの風がなく、火の回りが緩慢で関係者がやきもきする場面もありましたが、どうにか目標の区域を無事に焼却し終わり、葦の会が腕を振るったぜんざいに舌鼓をうちました。また午後からは、公園レンジャーと葦の会メンバーによりピオトープ周辺の下草とヨシを刈り、観察通路の整備もおこなわれました。公園はスッキリ春の装いとなりました。



～ 活動を振り返って ～

春まつり、夏休み子ども早朝観察会、ふれあいまつり、クリスマスリース作りなど春夏秋冬の行事を無事にこなし、一安心の年度末を迎えています。今年度の活動の特筆事項として、ショートプログラムチームが新しく紙芝居「韓国のおともだち・クロツラヘラサギのクンちゃん」を製作したこと、12月のきらら元気ドームで行われた「ファンタジークリスマス in きらら」に参入したことの2点を挙げるすることができます。年々活動の域を広げ公園ボランティアとしての存在価値が高まっていくことを感じています。